

平成30年度 地理歴史科

教科	地理歴史	科目	世界史A	単位数	2単位	年次	2年次
使用教科書	改訂版「世界の歴史A」 (山川出版)						
副教材等							

1 担当者からのメッセージ (学習方法等)

現代に生きる人として必要な、基本的な世界の歴史に対する知識を深め、主体的に理解させる。
特に現代の世界と自己との関わりに注目させ、いかに現代の課題解決を計り、生きぬくか考察させる。

2 学習の到達目標

- ・現代の諸課題を古代から近現代史の歴史的事実と結び付け、歴史的観点から考察することができる力をつける。
- ・世界の歴史を地理的条件や日本の歴史と関連付けながら理解し、国際社会に主体的に生きる日本国民としての自覚と資質を養う。

3 学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c:資料活用の技能	d:知識・理解
観 点 の 趣 旨	世界の歴史に対する関心と課題意識を高め、意欲的に探求する。 国際社会に主体的に生き国家・社会を形成する日本国民としての責務を果たそうとする。	歴史的観点から考察し、国際社会の変化を踏まえ公正に判断して、その過程や結果を適切に理解し、表現することができる。	世界の歴史に関する諸資料を集し、有用な情報を選択して、読み取り、洞察する。	世界の歴史についての基本的な事柄を地理的条件や日本の歴史と関連付けながら理解し、その知識を身に付けている。
評 価 方 法	授業での発問 学習プリント作成 小テスト 一問一答プリント	定期考査 学習プリント作成 まとめプリント完成	学習プリント作成 地図、年表、図表の作成	定期考査 小テスト
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に5段階の評定にまとめます。 学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。				

4 学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
1学期	人類の歴史の始まり	<ul style="list-style-type: none"> ・人類の誕生から 分明の起こり や生活様式の変 化 ・文明のはじまり 	○	○			a: 自然環境と歴史、日本の歴史と世界の歴史のつながりに関わる主題を意欲的に考察し、意欲をもって取り組む。 b: 設定された主題について、多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。	小テスト 学習プリント ノート提出 授業態度
	世界の一体化と日本(世界の諸文明)	<ul style="list-style-type: none"> 東アジア世界・ I・II・III ・中国文明と 中国の統一 東アジアの世界 ・東アジア世界と 日本 ・南アジア世界 ・東南アジア世界 	○	○		○	a 世界の各地域の古代から近代までの歴史を、現代につながる文明や文化を学び、各地域の特質をふまえて理解できているか。 b アジア世界の諸国家の制度や仕組みが現代にもつながっていることが理解できているか。 d 草の道・海の道・絹の道を通じて東西の文化交流が文化・生活の発展につながっていることを理解できているか。	定期考査 小テスト ノート提出 授業態度
	(世界の諸文明)	<ul style="list-style-type: none"> 西アジア世界 I・II・III イスラーム教を 考える ヨーロッパ世界 I・II キリスト教を 考える。 	○	○	○	○	a・現代の西アジア・ヨーロッパの原型を理解させるとともに宗教観、世界観について考えさせる。 b: アラブ人やローマ人・ギリシア人の宗教、世界観を理解させ、現代につながるものの見方、考え方を理解させる。 c: 設定された時代の諸地域の特質を見だし、世界商業の進展などに関連付けて多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。 d: 設定された時代に関する諸資料を収集し、有用な情報を選択して、読み取ったり図表にまとめたりしている。 また、大航海時代におけるヨーロッパの海外進出、ルネサンスと宗教改革などの動き、ヨーロッパの主権国家体制の成立、アジアの諸帝国の繁栄について理解し、その知識を身に付けている。	学習プリント 定期考査 小テスト 授業態度

2 学 期	世界 の 一 体 化 の 始 まり	<ul style="list-style-type: none"> ・16世紀の始まり ・明・清代のアジア ・大航海と アメリカ征服 ・宗教改革 ・絶対王政と 議会王政 大西洋経済 	○	○	○	○	<p>a 近代化の始まり、世界が一体化する動きに対する理解ができているか。 その動きの中で、日本の対応がどのようになされたのかも理解できているか。</p> <p>b 大航海時代による世界の変化と主権国家から国民国家への流れの原型を理解し、現代の議会制民主主義のあり方へ考察を深める。</p> <p>c 宗教改革の意味と発展を理解し、現代のキリスト教観について知識を深める。</p> <p>d 大西洋経済システムが18世紀までに成立し、西欧経済の基盤となったことを理解し、日本との経済的な発展と比較し、理解する。</p>	定期 考 査 学 習 プ リ ン ト 提 出 小 テ ス ト 授 業 態 度
	近代 の 世 界	<ul style="list-style-type: none"> ・アメリカの独立 ・フランス革命 ・ナポレオン帝国 ・1849年革命 ・アメリカ合衆国の 発展と ・ラテンアメリカと 世界資本主義 	○	○	○	○	<p>a 宗教戦争を克服したヨーロッパ諸国の政治体制を理解し、現代の政治制度、産業革命を経て近代経済が発達した流れをまとめていく。</p> <p>b 社会の急激な変化の具体的な様相や、戦争野の原因や影響と平和の意義について多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している</p> <p>c: 戦争の影響と平和の意義などに関する諸資料を収集し、有用な情報を選択して、読み取ったり図表などにまとめたりしている。</p> <p>d 特にナポレオン戦争の影響をまとめ元代社会の国家の構造に影響したか考察する。</p>	定期 考 査 学 習 プ リ ン ト 提 出 小 テ ス ト 授 業 態 度

3 学 期	現代の始まりと帝国主義・二つの戦争	・資本主義の成熟	○	○	○	○	a 18 世紀後期以降の諸地域世界の変貌についての基本的な事柄を 19 世紀の世界の一体化と関連付けて理解し、その知識を身に付けている。	定期考査 ワークシート 授業態度
		・世界の分割						
		・帝国主義と一体化の進展	○	○	○	○	c 20 世紀初頭にみられた社会の急激な変化の具体的な様相や、二つの世界大戦の原因や影響と平和の意義について多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。	
		・植民地・従属国での民衆抵抗	○	○	○	○		d 20 世紀という時代の基本的な事柄や、二つの世界大戦の原因や総力戦としての性格についての基本的な事柄を、両大戦の影響と平和の意義などと関連付けて理解し、その知識を身に付けている。
		・日露戦争と韓国併合						
		・第一次大戦						
		・世界恐慌	○	○	○	○		
		・第二次大戦						
		・冷戦の構造						

※ 表中の観点について a:関心・意欲・態度 b:思考・判断・表現
c:資料活用の技能 d:知識・理解

※ 原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。